

さっぽろっこ読書プラン(案)の概要

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景・趣旨

第2次札幌市子どもの読書活動推進計画の計画期間が終了したことから、新たに社会全体で子どもの読書活動に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために計画を策定

2 計画の位置づけ

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく市町村計画（努力義務）
3 計画期間 平成27年度から5年間
4 計画の対象範囲 おおむね18歳以下の子ども。子どもの読書活動と関係する市民や団体

第2章 子どもの読書活動の現状と課題

<p>社会情勢</p> <p>情報通信技術の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話やスマートフォンを使ったインターネット利用の常態化 若い世代への電子書籍の普及の兆し <p>子どもの読書状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 不読率（1カ月に1冊も本を読まなかった人の割合）の改善 図書館利用の減少 学校段階が進むにつれ読書活動が減る傾向 <p>読書の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書の人間的な心身の成長に果たす役割についての指摘 読書活動を通じて自ら学び、自ら考え、自ら行動する姿勢を育む必要性 	<p>国及び北海道の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の第3次計画策定（H25.5） 学校図書館法の改正（H26.6）学校司書を法的に位置づけ 北海道の第3次計画策定（H25.3） <p>第2次計画の成果</p> <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> さっぽろ親子絵本ふれあい事業(プロジェクト)の実施 学校図書館の地域開放の実施 <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども読書チャレンジプロジェクトの実施 子ども読書週間特別行事などの子ども向け行事の実施 <p>学校等</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児用絵本の共同利用 学校における一斉読書の実施 図書資源のネットワーク化
--	---

課題

<p>家庭・地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭読書の普及・啓発・習慣化 ボランティアの育成 	<p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児への読書活動支援 中学・高校生への読書活動支援 ボランティア団体との連携 学校との連携 障がいのある子どもへの読書活動支援 	<p>学校等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館との連携 学校図書館の利用促進
---	--	---

第2次計画の指標の結果について

区分	21年度	26年度	26年度目標
1 学校における一斉読書の取組	小 98.6% 中 79.6%	小 100% 中 99.0%	100%
2 幼児・児童1人あたりの年間児童書貸出冊数	10.7冊	10.4冊	13.0冊
3 図書館と連携した活動を行っている学校の割合	小 12.6% 中 34.7%	小 27.7% 中 35.1%	100%

「1」についてはほぼ目標達成。「2」は減少傾向が見られるが、不読率などの子どもの読書量に改善傾向があることを鑑みると、貸出冊数による読書量の把握は難しい状況と考えられる。「3」については、特に小学校で増加する傾向が見られるが、一方で、子どもの図書館利用が少ない現状を考えると実際の図書館利用状況に着目する必要があると思われる。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本目標

- 読書の楽しさにふれる
- 読書の大切さを知る
- 子どもの読書をみんなで支える

2 基本方針

- 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実
- 子どもの読書活動に関する普及・啓発
- 子どもの読書環境の充実

3 計画の指標

基本目標	指標項目	26年度	31年度目標値
1	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり10分以上読書する子どもの割合	小6 66.0% 中3 57.3%	小6 70.0% 中3 70.0%
2	読書が好きな子どもの割合	小6 75.9% 中3 74.9%	小6 78.0% 中3 78.0%
3	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に月1回以上行く子どもの割合	小6 39.4% 中3 15.1%	小6 55.0% 中3 26.0%

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

第1節 基本方針1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実

本との楽しい出会いを通じて、子どもが自主的に読書をする習慣を身に付けるとともに、読書活動を通じて情報を収集・活用して物事を探究する姿勢を養うなど、自ら学び、自ら考え、自ら行動する力を育むための取組を行う。

1 乳幼児期における読書活動の推進

乳幼児期から、絵本を通じて言葉や表現に触れることによって豊かな感性を育むため、絵本に親しむ機会が増えるよう、地域や図書館など、市内のさまざまな施設で子どもや保護者が気軽に読書を楽しめる取組を行う。

【主な取組】★絵本図書館での年齢に応じたサービスの開発、★絵本図書館での幼稚園・保育所などの団体利用

2 小学生期における読書活動の推進

単に本を読むだけでなく、本や新聞を利用した調べものを学び、本や体験を通じて、自主的に読書をする習慣が身に付くよう、子どもの興味や関心を喚起し、子どもの好奇心を満たす楽しい読書活動を進める。

【主な取組】出前講座など図書館による小学生向け読書活動、★司書教諭からの相談対応など図書館による小学校支援

3 中学・高校生期における読書活動の推進

中学・高校生が興味や関心のあることから読書のきっかけづくりに取り組むとともに、情報リテラシーを育成して課題探究的な学習に生かし、生涯を通じて幅広く読書を楽しみ、学び続けていく姿勢を身に付けられるよう支援を行う。

【主な取組】★司書の学校図書館訪問など図書館による中学校への支援、★複数校を一人が担当することを基本とした全市立中学校への学校司書の配置

第2節 基本方針2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

読書活動に関する普及・啓発に努め、読書活動を推進する市民意識の醸成を図る。

普及・啓発の推進

さまざまなメディアを通じて、あらゆる機会を捉えて、読書活動の普及・啓発に努め、社会全体で読書活動を広げていく雰囲気づくりを進め、自然に身近に本のある生活意識の醸成を図る。

【主な取組】行事の実施などによる家庭読書の普及・啓発、★電子書籍の充実などデジタル時代への普及・啓発、★中学・高校生向けHPの開設、★図書館を活用した学習などについての教員・学校司書向け情報発信

第3節 基本方針3 子どもの読書環境の充実

子どもの興味や関心を引き付け、子どもの成長を促す読書環境をつくり、幅広い読書活動や学習活動を支える。

1 家庭・地域の読書環境の整備

学校図書館の地域開放を進めるほか、児童会館や子育てサロンなどで地域の子どもや市民の読書環境づくりに努めるとともに、地域のボランティアを育成し、活躍の機会を広げる。

【主な取組】読み聞かせボランティアの研修、児童会館の図書の実施、学校図書館の地域開放の促進

2 図書館の読書環境の整備

子どもから大人まであらゆる年齢層の人々が集い、本を通じて自ら学び、考え、創造し、より豊かな生活の実現を目指す生涯学習の情報拠点として、子どもと本との出会いの場を提供する。また、平成28年11月に、白石区複合庁舎内に絵本図書館を開設し、絵本専門図書館ならではのサービスを全市的に展開する。

【主な取組】★絵本図書館の設置、★札幌の魅力をつつとした絵本を公募して電子書籍化するさっぽろデジタル絵本事業、点字絵本や大活字本の提供など障がいのある子どもたちへのより充実した対応

3 学校等の読書環境の整備

幼稚園・保育所では、子どもや保護者が多くの絵本とふれあう機会を提供するために、各施設に絵本を整備するほか、大型絵本などの共同利用を行う。学校では、全市立中学校に学校司書を配置するなど環境の整備を図る。

【主な取組】幼稚園などにおける幼児用絵本の共同利用、学校図書館の計画的な図書整備の推進、寄託図書の充実

4 関係機関・団体の連携・協力の推進

読書活動を通して子どもたちが豊かな心を育むとともに、意欲的に自ら学び、自ら考え、自ら行動する力を養い、健やかに成長できるよう社会全体で相互に連携を図り、協力しながら読書活動の推進に取り組む。

【主な取組】★団体利用などを通じた図書館と幼稚園・保育所との連携、調べ学習などを通じた図書館と学校との連携

第5章 計画の効果的な推進

1 計画の推進

社会全体で読書の意義や重要性について理解し、読書に関する興味や関心を高め、家庭・地域、図書館、学校等が互いに情報を共有し、緊密に連携しながら施策の効果的な推進を図る。

2 計画の評価及び検証

PDC Aサイクルの考え方に基づき、関係機関や団体が会議や情報交換を通じて、計画の進捗状況を確認し、施策の成果や課題の検証を行う。

注1) ★は新規の取組 注2) 文中の絵本図書館は仮称です。